

にほんご探偵局(日本語おもしろ調査ファイル)

謎解明シリーズ①大坂と大阪(ファイルNo.17)

ふだん何気なく使っている言葉に、ふと疑問を抱く。そんなことはないでしょうか。少し疑問をはさんでみると、面白い世界が広がります。言葉の謎を究明するシリーズです。第一回は、「大坂」が「大阪」となった謎に迫ります。

◎海に浮かぶ大坂市

大阪市のほぼ中央を南北に走る上町台地。現在の大阪市域は縄文時代、半島のように突き出たこの台地を除き、海でした。河内湾と呼ばれます。湾は淀川と大和川が運ぶ土砂の堆積で徐々に小さくなり、淡水化も進み河内湖の時代に。三、四世紀には多くの小島ができ八十島と呼ばれ、五世紀頃もまだ西側に上町台地という蓋を持つ河内湖で、八世紀になっても上町台地のすぐ西側は海岸線でした。

十五世紀末、日本最大の教団をつくりあげた蓮如が、上町台地北端に築いたのが石山本願寺です。寺というより城。天下布武を目指した信長にとって最大の障害は、名だたる戦国武将でなく、石山本願寺を拠点とした真宗信徒だったといわれます。

水に囲まれた天然の要塞が信長を悩ませたのです。

秀吉は、大坂を水都として整備し、石山本願寺跡地に大坂城を築きました。土木工事好きの秀吉は十六世紀末、強固な堤防を築き淀川の流路を固定させました。文禄堤です。絶えず洪水に悩まされていた大坂にとって秀吉は恩人です。

上町台地西側を開発・造成し町をつくったのも秀吉です。船場、堀江、島之内などが開発され堀川が縦横に走る水都・大坂が完成しました。

この頃から江戸期の大坂古地図を見ると、大和川は上町台地を迂回するように北に曲がり分流、二つの大きな池に注ぎ込んでいました。二つの池は河内湾、河内湖の名残ですが、淀川にもこの二つの池に注ぐ流路がありました。大阪を代表する二つの河川はかつて結ばれていたのです。大和川は十八世紀初頭、水害軽減のため南側に付け替えられました。大雑把に言うと、現在の大阪市域とは北の淀川、南の大和川で区切られた地域。

豊臣氏滅亡後、大坂は荒廃しましたが、それは一時期だけ。江戸幕府は大坂を天領とし、河川を改修、堀を開削、諸藩も蔵屋敷を置

き水路で年貢米を運んだため、八百八橋と言われるほど橋と水路の多い町となりました。復興した大坂には全国の物産が集中し天下の台所と呼ばれました。商都・大坂の誕生です。

◎水都の坂

長々と大阪の歴史にふれました。大坂が大阪となるには、商都・大坂の誕生が必要だったからです。

大坂とは元来、上町台地北端あたりを指した地名です。台地が低地に落ち込む「坂」ということです。江戸期、大坂の商人は大坂と書くようになりました。「坂」が「土に返る」と読めるため、縁起をかついだのです。明治維新後の一八六八年、政府は「大阪」と表記することに決めました。

「坂」は土が反するということが政府の役人が嫌ったという説があります。明治初期、特権を剥奪された不平士族による反乱が相次ぎました。最大の反乱が西南戦争です。坂という字を政府が嫌ったのも頷けます。

今、水都・大坂の面影は中之島あたりにわずかに残るのみ。ただ、淀屋橋、心齋橋、四ツ橋など橋という字がつく地名がやたら多く、実際、大阪市は橋の数も多いのです。坂を偲ぶなら上町台地西側から大阪城に向かいます。なだらかな坂を実感できます。上町台地の根元にあたる天王寺、阿倍野界隈の見晴らしのよい場所から西を眺めれば、高台であるのが分かります。

ガラストップガスコンロ販売中!

7年リースなら...

- 標準工事費無料
- 7年間メーカー保証付



7年リース
(税込) 月々 **780円** から

健康ライフ

日焼けに注意
秋こそ紫外線対策を



日照時間が短い国や地域ならともかく、日本では日照不足によるビタミンD欠乏症は希です。日常生活での少しの紫外線と食べ物でビタミンDを十分生成することができません。かつては、健康的な小麦色の肌もてはやされました。近年、多くの学者や医者は、医学的にも「紫外線に当たらないほうが良い」と言います。シミ、そばかすを増やし、皮膚を老化させ、皮膚癌や白内障を発症・誘発し、皮膚の免疫力まで低下させるのが日焼けです。

真夏ほど紫外線が強くないので油断してしまう秋こそ、日焼け対策が必要です。秋の紫外線は真夏の40〜70%といわれますが、行楽で長い時間外にいれば、夏より多くの紫外線を浴びてしまふのです。

★胡瓜・カニカマ・麩の和えもの★

〈材料〉胡瓜、カニカマ、おつゆ麩

- ①胡瓜はうすく輪切り、うすめの塩をして5分ほどおいた後、少量の湯で洗い水切り。
- ②カニカマは短冊切り。
- ③おつゆ麩は水に浸し、水を切り2〜3分茹でる。
- ④カニカマ、麩には、まぶし醤油、だし醤油を適量。
- ⑤スリゴマ、カラシ(ワサビでもOK)をスリゴマでまぜ、全部と和える。味の素を少量いれるとよりおいしい。



わが家の自慢料理
〈滋賀県栗東市 藤原幸子様〉

「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。